

ライフサポートひなた

症 例 概 要 利用者氏名： 80代 女性 介護度 3

利用期間：令和6年9月～

病名：#1. 右急速破壊型股関節症（人工股関節全置換術）、#2. 右股関節後方脱臼、#3. 慢性心不全増悪、#4左前胸部膿瘍、

既往歴：脂質異常症、虫垂炎、椎間板ヘルニア、右肩良性腫瘍、左乳癌（1987年手術＋放射線治療）→左上肢の圧迫&駆血禁止。右脛骨外踝内踝骨折＋左第5中側骨骨折（1993）、完全房室ブロック（2011 恒久的ペースメーカー植え込み術）、脳挫傷（2016年頃、岐阜県で交通事故、後遺症なし）

内 容

入所当初は移動時に車椅子を使用され、移乗も一部介助を必要としており、食事やおやつ以外の時間は居室のベッドで臥床されていることが多い様子でした。しかし、介護職員やリハビリ職員との関わりの中で少しずつ意欲が見られるようになり、リハビリを通じて立ち上がりや移動の練習、自主練習として手すりを使った起立訓練も積極的に行われるようになりました。

また、日光浴を自ら希望されるようになり、大好きなお花の写真を居室に飾るなど、気持ちの面でも前向きな変化が見られました。職員との日々のコミュニケーションや支援を通じて、在宅復帰という明確な目標を持ち、それに向かって努力を重ねてられました。

その結果、入所時は車椅子での移動だったところから、歩行器を使用してフロア内を自由に歩行できるまでに回復されました。春には職員とともに大好きな桜の花見にも出かけることができ、施設生活の中でも充実した時間を過ごされました。

そして、ついに目標であった在宅復帰も無事に達成され、現在はご自宅での生活を継続されています。ご本人の強い意志と努力、そして介護職員の声かけ寄り添い・リハビリ職員の在宅復帰に向けたリハビリの支援があってこそ実現したこの在宅復帰は、まさに「キラキラ介護賞」にふさわしい取り組みであると考え、ここに推薦させていただきます。